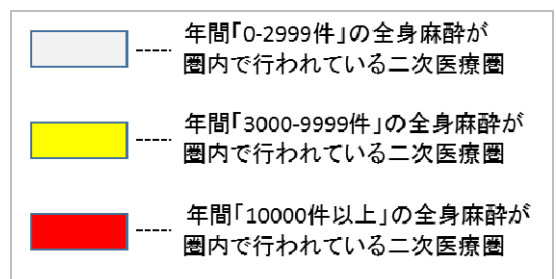
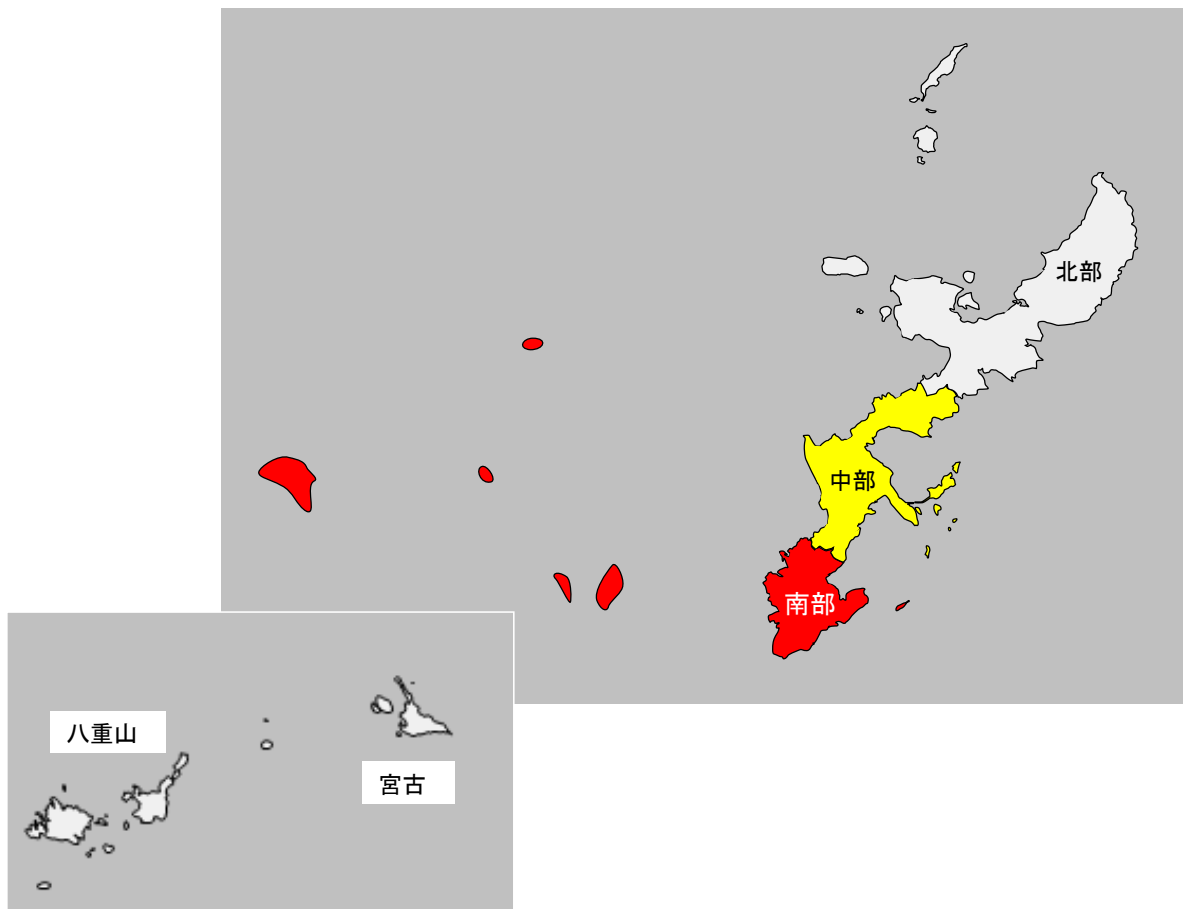


47. 沖縄県



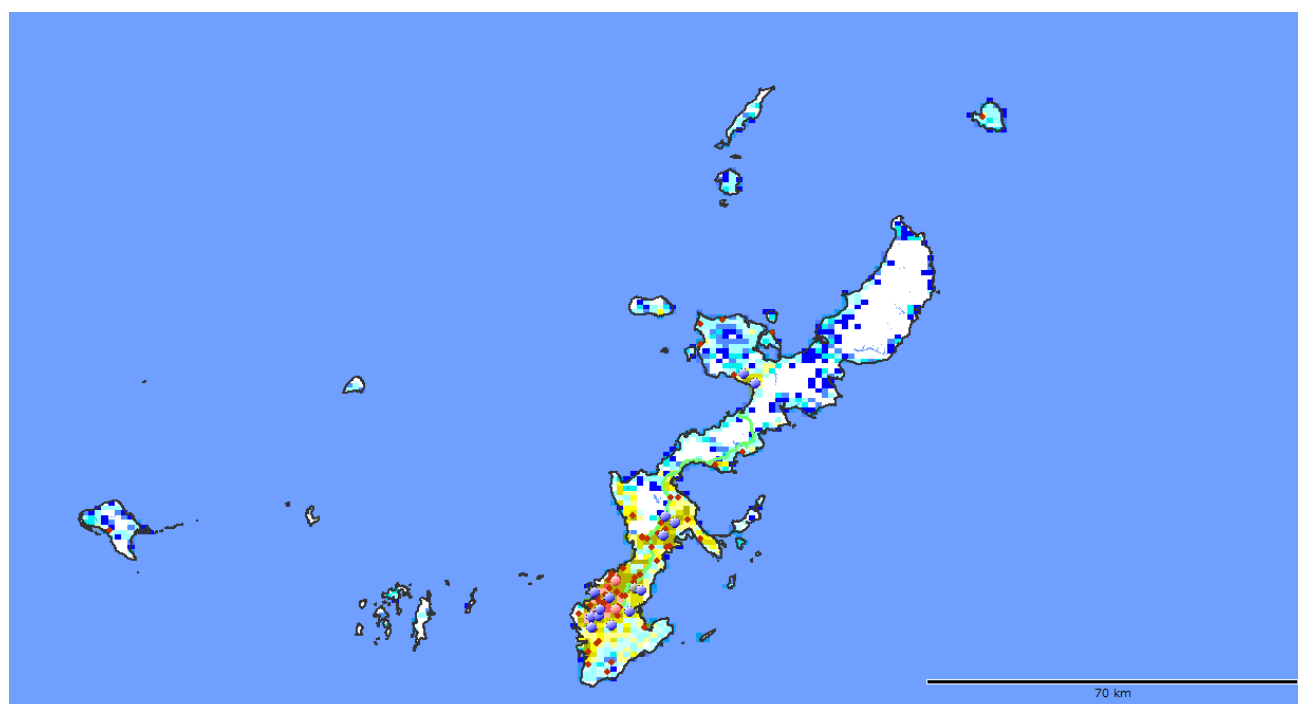
47. 沖縄県

目次

沖縄県.....	47 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	47 - 7
1. 北部医療圏.....	47 - 15
2. 中部医療圏.....	47 - 19
3. 南部医療圏.....	47 - 23
4. 宮古医療圏.....	47 - 27
5. 八重山医療圏.....	47 - 31

47. 沖縄県

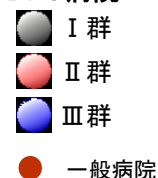
人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 沖縄県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(沖縄県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 沖縄県は、総人口約 1410 千人(2015 年推計)、面積 2276 km²、人口密度は 620 人/km²である。
- *人口の将来予測： 沖縄県の総人口は 2025 年に 1414 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年に 1369 千人へと減少する(2025 年比-3%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 145 千人が、2025 年にかけて 181 千人へと増加し(2015 年比+25%)、2040 年には 240 千人へと増加する(2025 年比+33%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 沖縄県の一人当たり医療費(国保)は 266 千円(偏差値 39)、介護給付費は 312 千円(偏差値 67)であり、医療費は低い、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 沖縄県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.14 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 50(病院医師数 53、診療所医師数 42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 55 とやや多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 49 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 59 と多く、回復期病床数は偏差値 57 と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 55 で精神病床数はやや多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 40 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 沖縄県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13379 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 8915 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 4464 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13493 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 63)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 60、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 49、有料老人ホーム 43、軽費ホーム 52、グループホーム 40、サ高住 59 である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 46 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1697 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は12949床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は15200床であり、その差は+2251床(+17%)である。

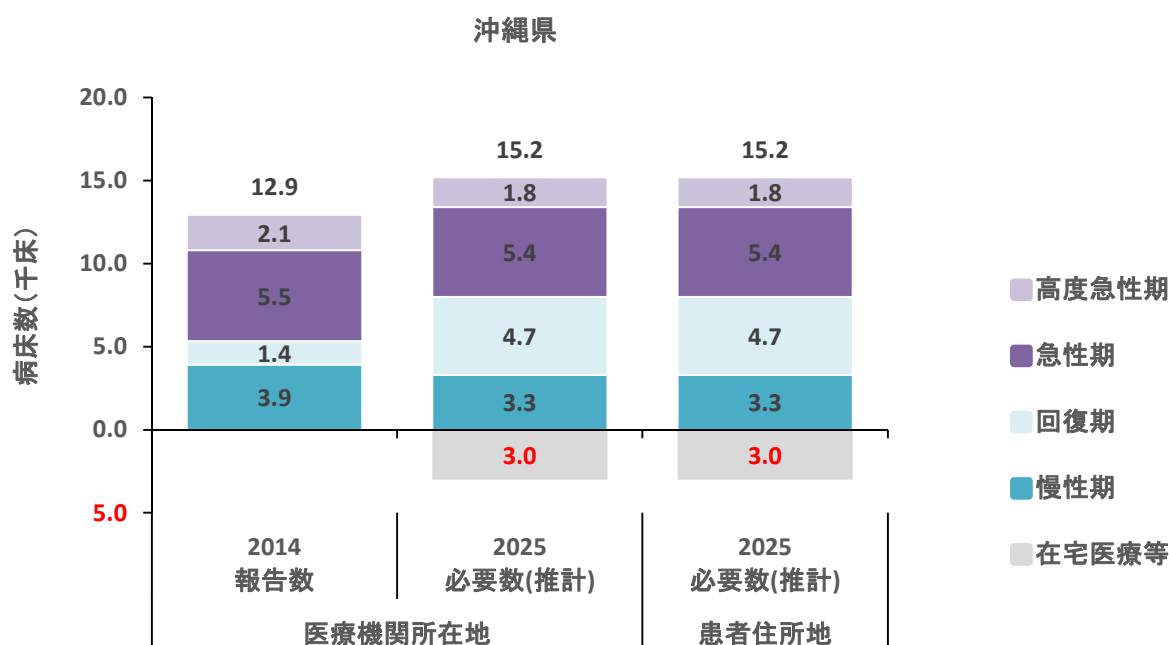
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は2139床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1800床であり、その差は-339床(-16%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は5467床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は5400床であり、その差は-67床(-1%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1425床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4700床であり、その差は+3275床(+230%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は3918床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3300床であり、その差は-618床(-16%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は3000人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は-6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-76%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

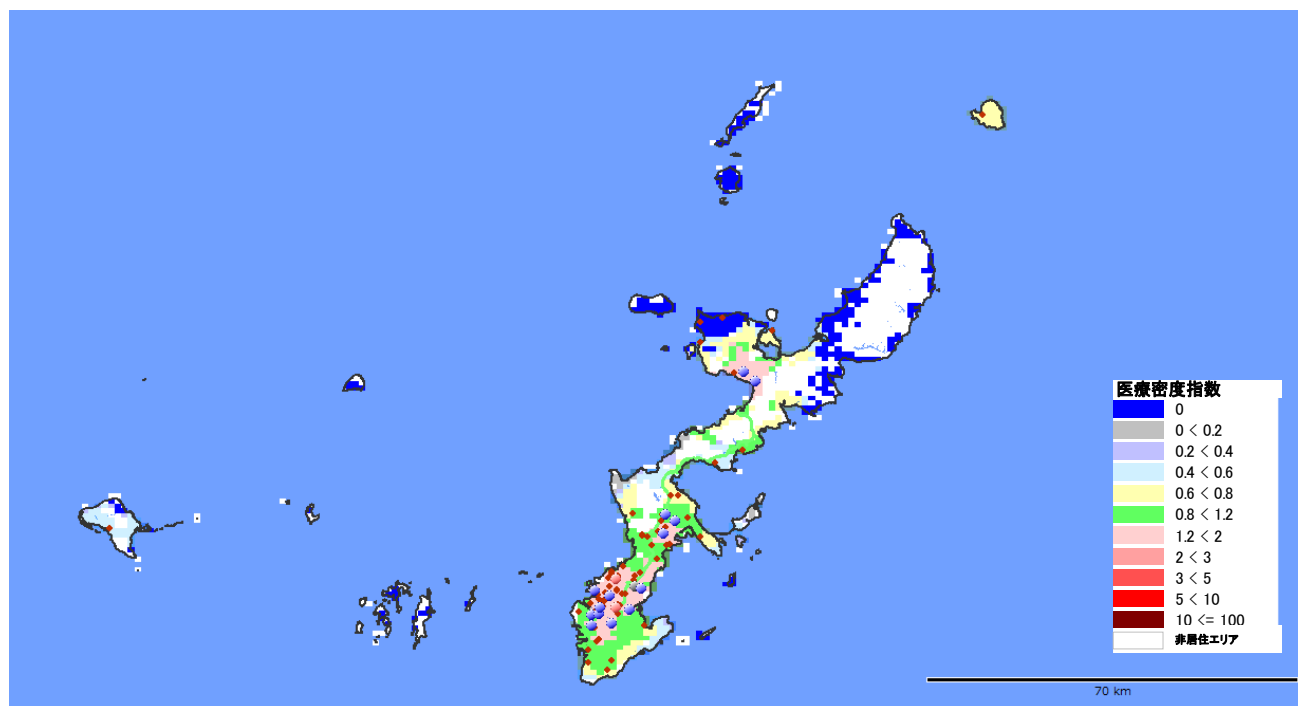
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

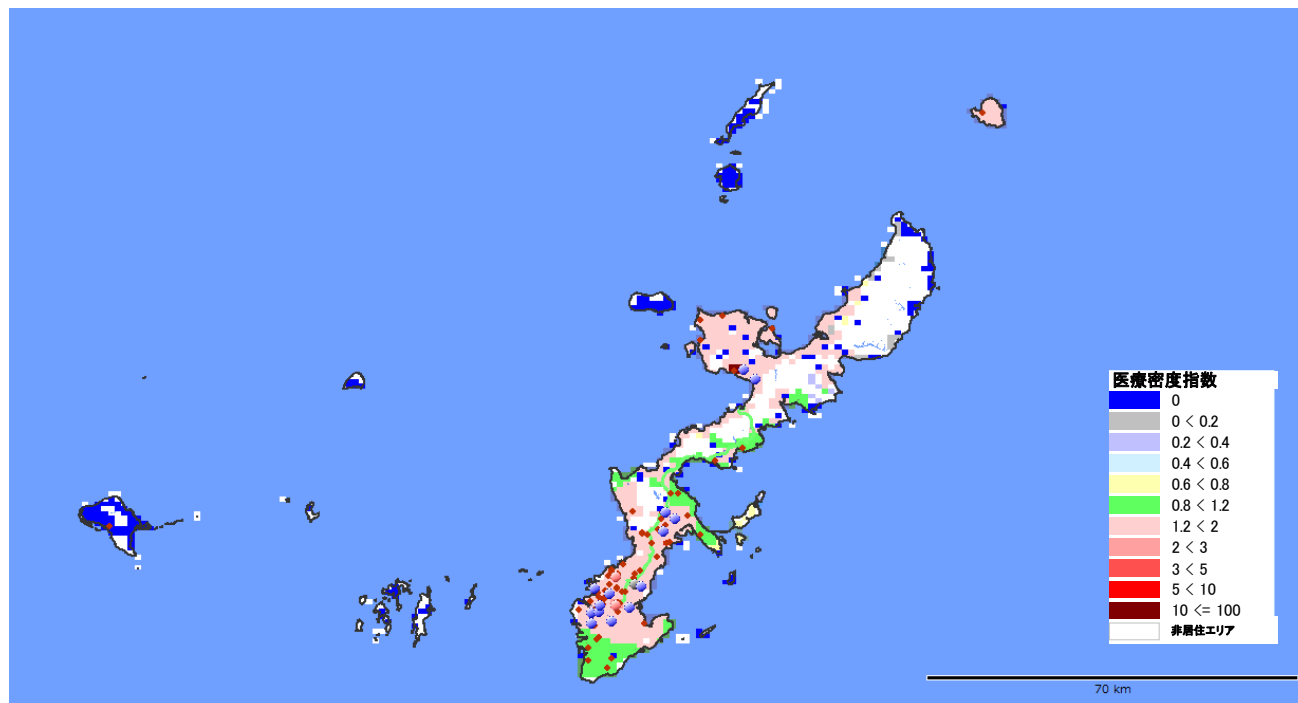
47. 沖縄県

2. 医療密度⁵

図表 47-1 急性期医療密度指数マップ



図表 47-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 47-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
沖縄県	1,410	26位	2,276	44位	619.6		20%	1,414	1,369	145	181	240	0%	-3%	25%	33%
北部	100	7%	705	31%	142.0	過疎地域型	24%	97	90	13	15	20	-3%	-7%	15%	33%
中部	487	35%	366	16%	1,330.4	地方都市型	19%	491	481	48	61	80	1%	-2%	27%	31%
南部	719	51%	387	17%	1,856.1	地方都市型	19%	724	704	71	91	121	1%	-3%	28%	33%
宮古	52	4%	226	10%	228.1	地方都市型	25%	48	43	7	7	10	-8%	-10%	0%	43%
八重山	53	4%	592	26%	90.0	過疎地域型	20%	54	52	6	7	9	2%	-4%	17%	29%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 47-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
沖縄県	1.07	1.14	-6.0%	-32.7%	-75.8%
北部	0.88	0.98	-5.7%	-23.2%	-59.4%
中部	0.97	1.81	-10.4%	-39.4%	-84.1%
南部	1.16	0.74	-15.3%	-48.9%	-97.4%
宮古	1.39	1.39	15.3%	14.4%	-11.3%
八重山	0.67	0.67	-14.9%	-36.3%	-97.6%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

47. 沖縄県

資_図表 47-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
沖縄県	266	39	312	67
北部	303	48	322	69
中部	257	37	308	66
南部	269	40	307	65
宮古	218	28	395	89
八重山	215	27	340	74
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 47-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
沖縄県	94	1.1%	6.7	50	847	0.8%	60	40
北部	10	11%	10.0	58	60	7%	60	40
中部	29	31%	6.0	48	226	27%	46	33
南部	48	51%	6.7	50	484	57%	67	44
宮古	4	4%	7.7	52	38	4%	74	47
八重山	3	3%	5.6	47	39	5%	73	47
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 47-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
沖縄県	847	0.8%	60	40	738	0.8%	52	40	109	1.2%	7.7	51
北部	60	7%	60	40	54	7%	54	40	6	6%	6.0	48
中部	226	27%	46	33	201	27%	41	34	25	23%	5.1	47
南部	484	57%	67	44	424	57%	59	43	60	55%	8.3	51
宮古	38	4%	74	47	28	4%	54	41	10	9%	19.4	67
八重山	39	5%	73	47	31	4%	58	43	8	7%	15.0	61
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 47-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
沖縄県	18,850	1.2%	1,337	52	1,252	1.0%	89	49	20,102	1.2%	1,425	52
北部	1,921	10%	1,920	63	63	5%	63	47	1,984	10%	1,983	61
中部	5,927	31%	1,218	50	256	20%	53	46	6,183	31%	1,271	49
南部	9,782	52%	1,361	52	740	59%	103	51	10,522	52%	1,464	52
宮古	711	4%	1,376	53	144	12%	279	67	855	4%	1,655	55
八重山	509	3%	956	44	49	4%	92	50	558	3%	1,048	45
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 47-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
沖縄県	9,561	1.1%	678	49	3,790	1.2%	269	50	5,408	1.6%	383	55
北部	1,060	11%	1,059	65	496	13%	496	61	363	7%	363	54
中部	2,683	28%	551	43	1,331	35%	274	51	1,859	34%	382	55
南部	5,012	52%	697	50	1,659	44%	231	49	3,091	57%	430	57
宮古	444	5%	859	56	216	6%	418	57	45	1%	87	42
八重山	362	4%	680	49	88	2%	165	46	50	1%	94	42
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 47-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
沖縄県	1,312	1.8%	93	57	205	1.0%	15	45
北部	108	8%	108	61	0	0%	0	42
中部	584	45%	120	63	96	47%	20	46
南部	576	44%	80	55	102	50%	14	45
宮古	0	0%	0	37	7	3%	14	45
八重山	44	3%	83	55	0	0%	0	42
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期 リハビリテーション病棟連絡協議会の独 自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケ ア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

³ 復興東信越厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

47. 沖縄県

資_図表 47-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
沖縄県	29,808	1.2%	2,114	51	18,180	1.7%	1,289	65
北部	924	3%	923	38	1,152	6%	1,151	61
中部	7,380	25%	1,517	45	6,324	35%	1,300	66
南部	20,196	68%	2,810	58	9,348	51%	1,301	66
宮古	708	2%	1,370	43	696	4%	1,347	67
八重山	600	2%	1,126	40	660	4%	1,239	64
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 47-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
沖縄県	3,612	1.1%	256	50	2,583	1.3%	183	53	1,029	0.8%	73	42
北部	196	5%	196	43	136	5%	136	46	61	6%	61	38
中部	1,027	28%	211	45	728	28%	150	48	299	29%	61	39
南部	2,196	61%	306	55	1,600	62%	223	59	596	58%	83	46
宮古	97	3%	188	42	61	2%	118	43	36	3%	69	41
八重山	96	3%	180	41	59	2%	110	42	37	4%	70	41
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 47-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
沖縄県	14,059	1.3%	997	55	11,792	1.3%	836	56	2,267	1.3%	161	52
北部	1,109	8%	1,109	59	931	8%	930	59	179	8%	179	55
中部	4,320	31%	888	52	3,575	30%	735	51	745	33%	153	51
南部	7,774	55%	1,082	58	6,665	57%	927	59	1,109	49%	154	52
宮古	484	3%	936	53	344	3%	665	48	140	6%	272	67
八重山	373	3%	699	45	278	2%	522	43	95	4%	178	55
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 47-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
沖縄県	1,876	1.7%	133	59	2,029	0.7%	144	42
北部	155	8%	155	64	107	5%	107	38
中部	642	34%	132	59	523	26%	107	38
南部	1,009	54%	140	61	1,288	63%	179	46
宮古	29	2%	56	43	50	2%	97	37
八重山	41	2%	77	48	61	3%	115	39
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 47-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
沖縄県	99	0.7%	0.7	46	10	1.0%	0.1	51
北部	7	7%	0.5	42	1	10%	0.1	52
中部	24	24%	0.5	42	3	30%	0.1	50
南部	56	57%	0.8	48	6	60%	0.1	54
宮古	7	7%	0.9	52	0	0%	0	39
八重山	5	5%	0.9	51	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 47-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
沖縄県	13,379	0.9%	92	48	8,915	0.9%	62	52	4,464	0.7%	31	46
北部	1,204	9%	91	47	997	11%	75	63	207	5%	16	35
中部	4,566	34%	95	50	3,042	34%	63	54	1,524	34%	32	46
南部	6,358	48%	90	47	4,024	45%	57	49	2,334	52%	33	47
宮古	743	6%	100	53	516	6%	70	58	227	5%	31	46
八重山	508	4%	92	48	336	4%	61	52	172	4%	31	46
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

47. 沖縄県

資_図表 47-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
沖縄県	3,941	1.1%	27	60	4,419	0.8%	31	48	555	0.8%	3.8	49
北部	350	9%	26	58	559	13%	42	59	88	16%	6.6	56
中部	1,100	28%	23	52	1,661	38%	35	52	281	51%	5.9	54
南部	2,155	55%	30	65	1,779	40%	25	43	90	16%	1.3	43
宮古	180	5%	24	55	240	5%	32	50	96	17%	13.0	71
八重山	156	4%	28	61	180	4%	33	50	0	0%	0	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
沖縄県	884	0.4%	6.1	43	225	1.1%	1.6	52	861	0.5%	5.9	40
北部	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	8%	5.4	39
中部	223	25%	4.6	42	80	36%	1.7	52	285	33%	5.9	40
南部	597	68%	8.4	46	100	44%	1.4	51	414	48%	5.9	40
宮古	64	7%	8.6	46	0	0%	0	43	63	7%	8.5	45
八重山	0	0%	0	37	45	20%	8.2	87	27	3%	4.9	39
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
沖縄県	2,494	1.3%	17.2	59	110	1.2%	0.8	52	2,384	1.3%	16.5	59
北部	135	5%	10.1	48	0	0%	0	45	135	6%	10.1	49
中部	936	38%	19.5	63	60	55%	1.3	56	876	37%	18.3	62
南部	1,223	49%	17.3	59	0	0%	0	45	1,223	51%	17.3	61
宮古	100	4%	13.5	53	50	45%	6.8	100	50	2%	6.8	43
八重山	100	4%	18.1	61	0	0%	0	45	100	4%	18.1	62
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
沖縄県	1,410	0.9%	9.7	52	1,075	0.9%	7.4	52	335	0.9%	2.3	51
北部	124	9%	9.3	50	106	10%	8.0	54	18	5%	1.3	38
中部	490	35%	10.2	54	365	34%	7.6	52	125	37%	2.6	54
南部	629	45%	8.9	48	478	44%	6.8	49	151	45%	2.1	48
宮古	116	8%	15.7	75	93	9%	12.5	74	24	7%	3.2	61
八重山	51	4%	9.2	49	32	3%	5.9	45	18	5%	3.3	63
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
沖縄県	15,190	1.0%	105	61	13,493	1.1%	93	63	1,697	0.8%	11.7	47
北部	1,415	9%	106	62	1,184	9%	89	60	231	14%	17.4	57
中部	5,038	33%	105	61	4,541	34%	95	64	497	29%	10.4	45
南部	7,198	47%	102	59	6,580	49%	93	63	618	36%	8.7	42
宮古	1,007	7%	136	80	735	5%	99	67	272	16%	36.8	93
八重山	533	4%	97	55	454	3%	82	55	79	5%	14.3	52
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
沖縄県	4,389	0.6%	30	44	1,593	0.5%	11	39	8,513	0.6%	59	41
北部	246	6%	18	39	120	8%	9	37	1,033	12%	78	47
中部	729	17%	15	38	474	30%	10	38	2,524	30%	53	39
南部	2,928	67%	41	49	691	43%	10	38	3,619	43%	51	38
宮古	429	10%	58	56	195	12%	26	56	961	11%	130	64
八重山	57	1%	10	36	113	7%	20	49	376	4%	68	44
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

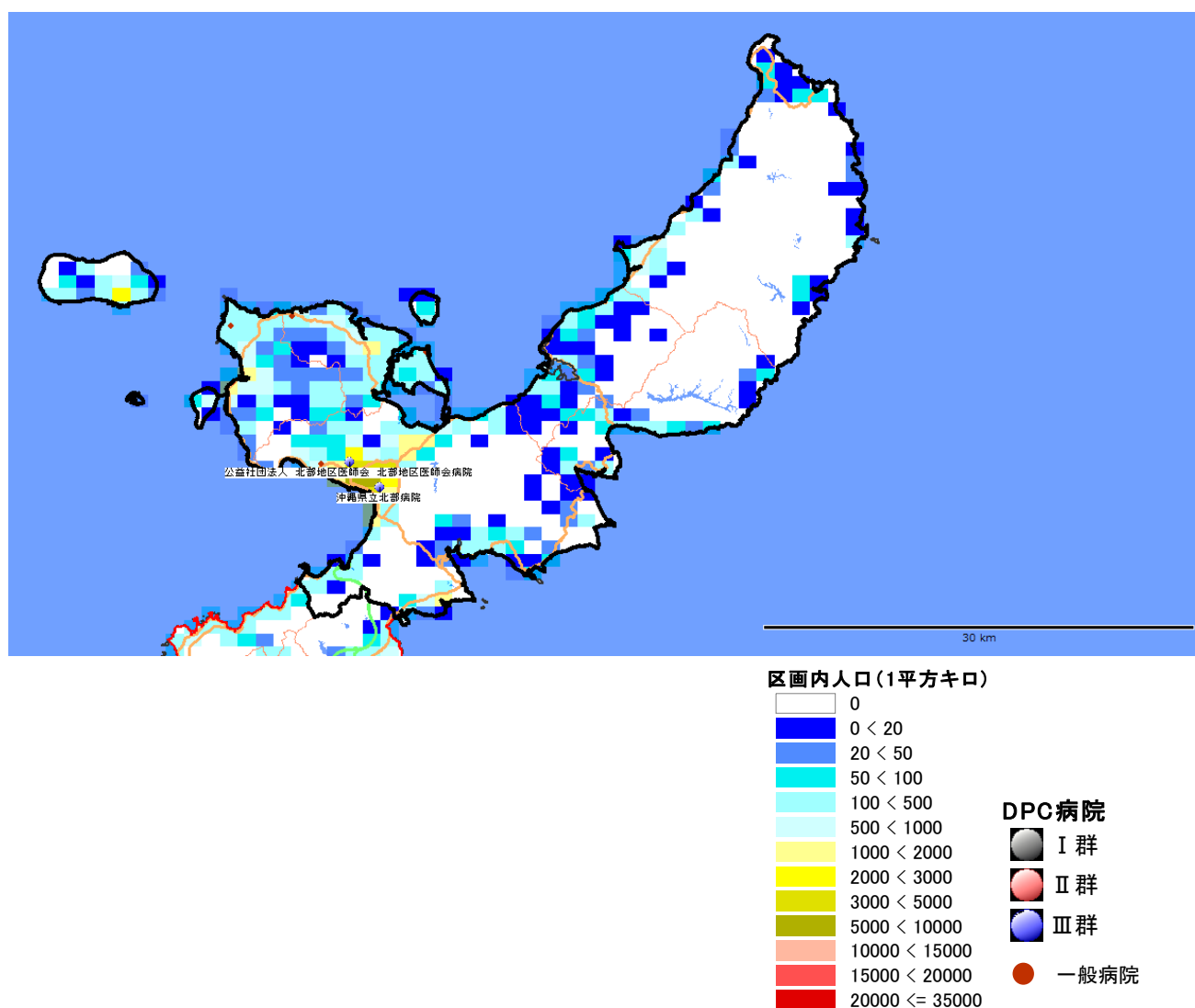
47. 沖縄県

資_図表 47-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
沖縄県	5,609	4,752	50	13,284	4,859	3,729	49.4%	49	1.3%	47
北部	1,062	1,060	0	859	0	496	100.0%	70	0.0%	46
中部	1,356	976	0	4,571	1,711	1,327	36.3%	43	0.0%	46
南部	2,398	2,037	50	7,389	2,987	1,602	40.5%	45	3.0%	47
宮古	443	388	0	306	90	216	81.2%	62	0.0%	46
八重山	350	291	0	159	71	88	80.4%	62	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

ほくぶ 47-1. 北部医療圏

構成市区町村¹ 名護市,国頭村,大宜味村,東村,今帰仁村,本部町,伊江村,伊平屋村,伊是名村
人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 北部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(名護市)は、総人口約 100 千人(2015 年推計)、面積 705 km²、人口密度は 142 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は 2025 年に 97 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 90 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 13 千人が、2025 年にかけて 15 千人へと増加し(2015 年比+15%)、2040 年には 20 千人へと増加する(2025 年比+33%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は 303 千円(偏差値 48)、介護給付費は 322 千円(偏差値 69)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.88、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.98 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 46、診療所医師数 38)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 65 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の北部地区医師会病院、沖縄県立北部病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 61 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 64 と多く、回復期病床数は偏差値 61 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 40 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1204 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 997 床(偏差値 63)、高齢者住宅等が 207 床(偏差値 35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1184 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 59、介護療養型医療施設 56、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 39、サ高住 48 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 42 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 52 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、231人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

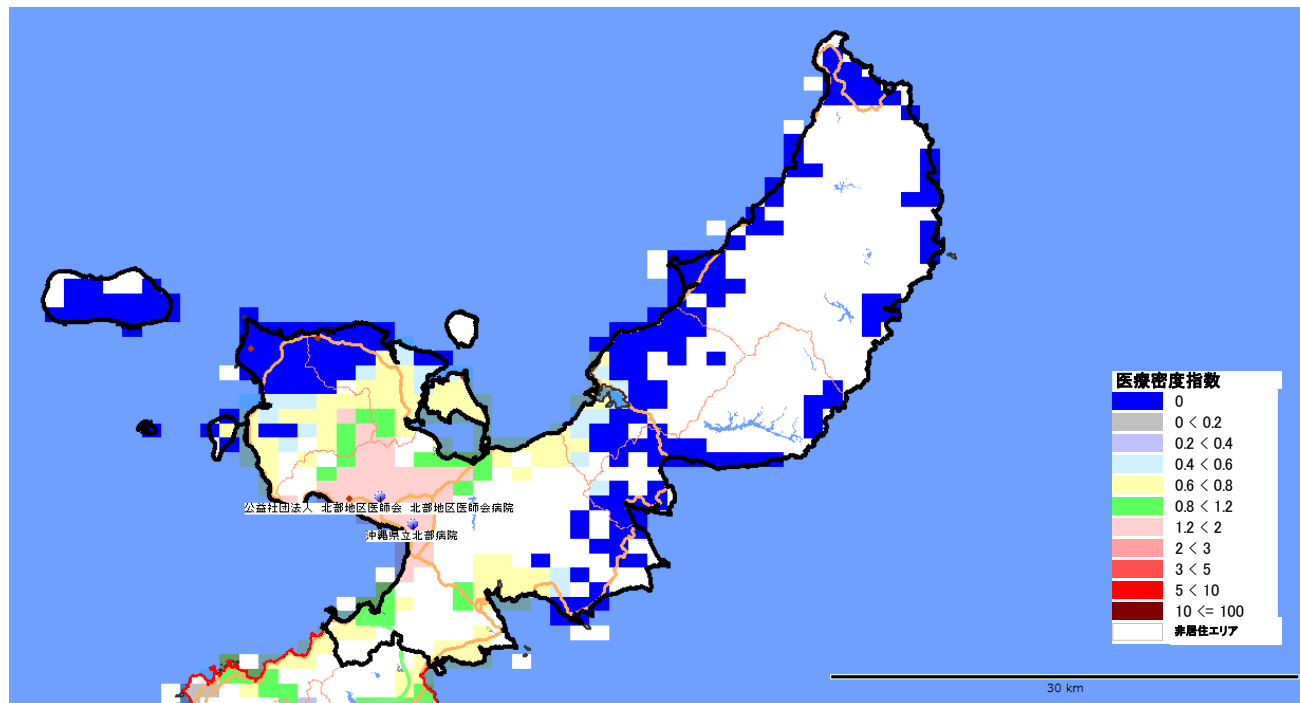
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-59%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

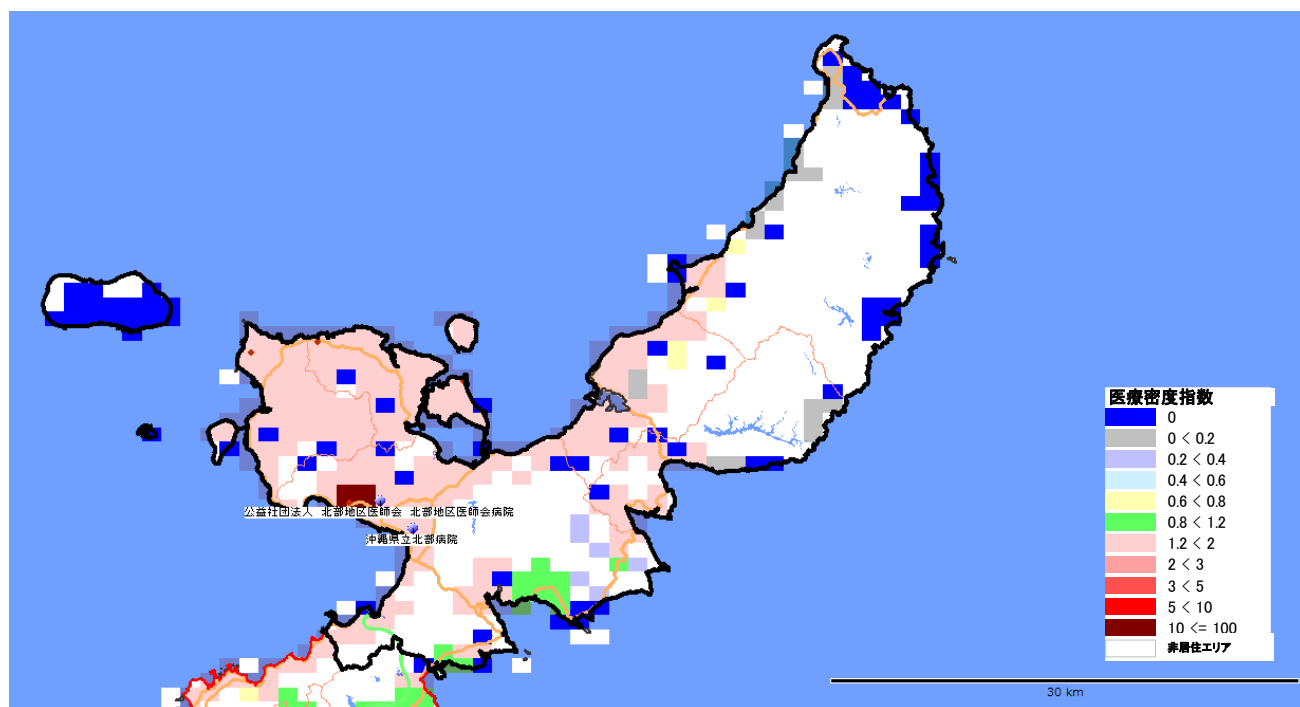
47. 沖縄県

2. 医療密度⁵

図表 47-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 47-1-2 慢性期医療密度指数マップ

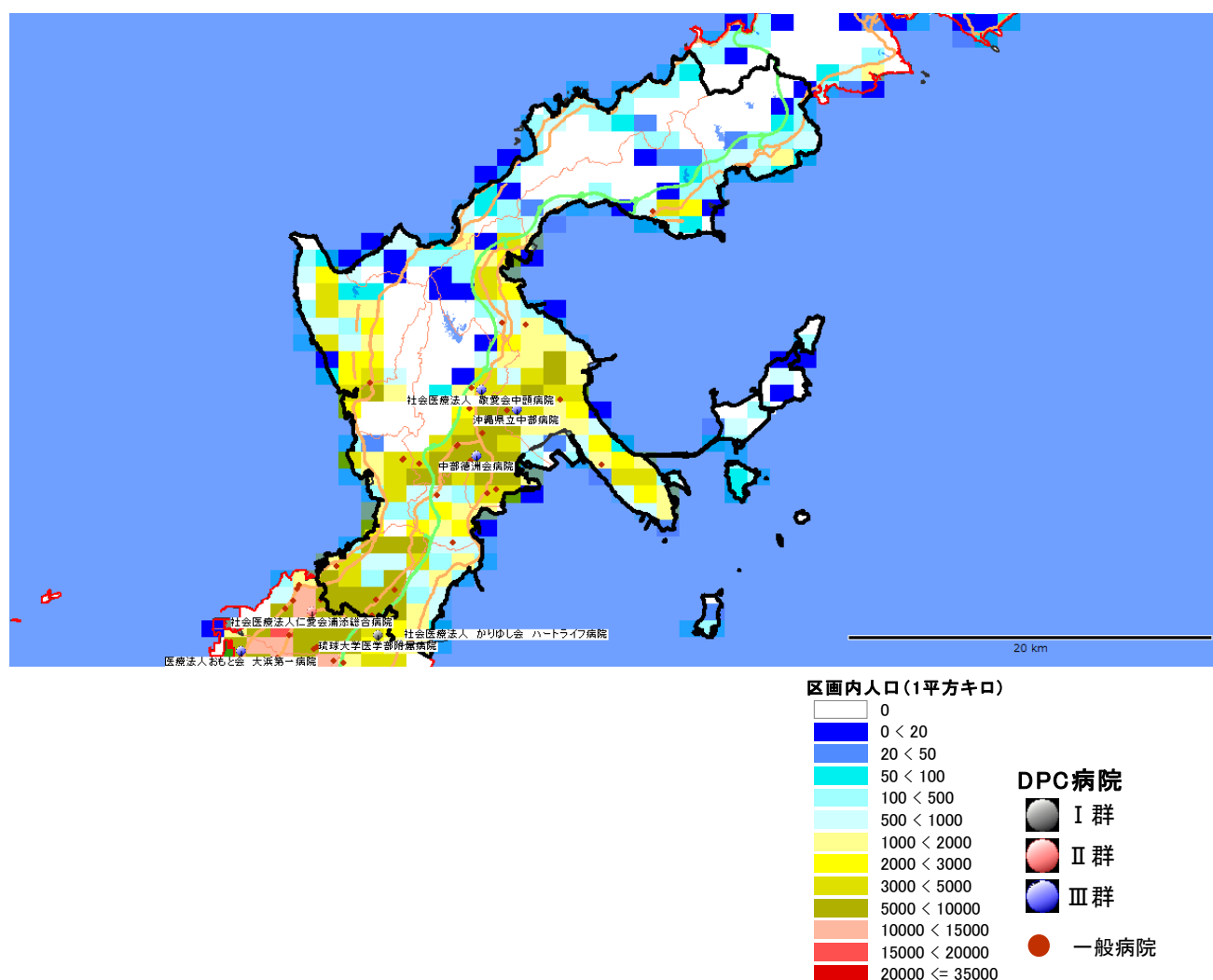


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

47-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村¹ 宜野湾市,沖縄市,うるま市,恩納村,宜野座村,金武町,読谷村,嘉手納町,北谷町,
北中城村,中城村

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 中部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(宜野湾市)は、総人口約 487 千人(2015 年推計)、面積 366 km²、人口密度は 1330 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は 2025 年に 491 千人へと増加し(2015 年比+1%)、2040 年に 481 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 48 千人が、2025 年にかけて 61 千人へと増加し(2015 年比+27%)、2040 年には 80 千人へと増加する(2025 年比+31%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は 257 千円(偏差値 37)、介護給付費は 308 千円(偏差値 66)であり、医療費は低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.97、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.81 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 48、診療所医師数 39)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 43 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 45 とやや少ない。中部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の中頭病院、1000 例以上の中部徳洲会病院、ハートライフ病院、沖縄県立中部病院(救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 59 と多く、回復期病床数は偏差値 63 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 55 で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 33 で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4566 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 3042 床(偏差値 54)、高齢者住宅等が 1524 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4541 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 54、有料老人ホーム 42、軽費ホーム 52、グループホーム 40、サ高住 63 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 42 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 50 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、497人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

【医療と介護の需要予測】

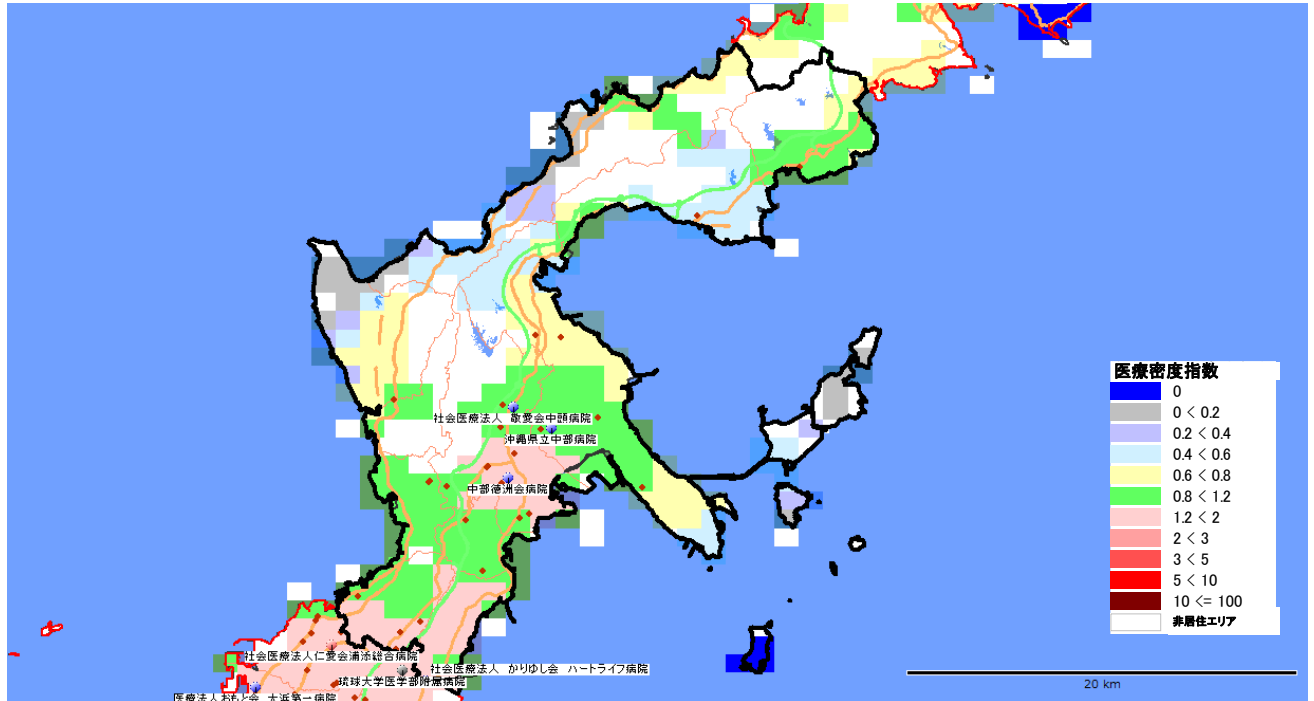
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-10%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-84%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

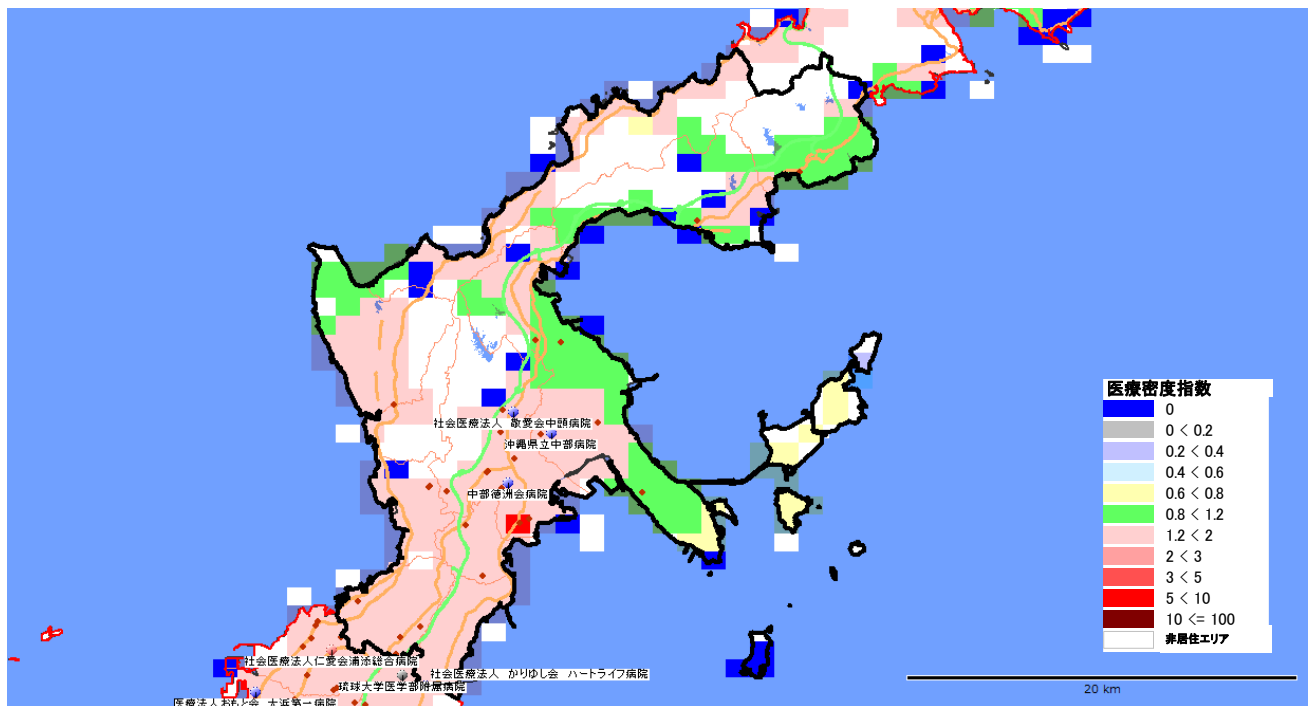
47. 沖縄県

2. 医療密度⁵

図表 47-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 47-2-2 慢性期医療密度指数マップ

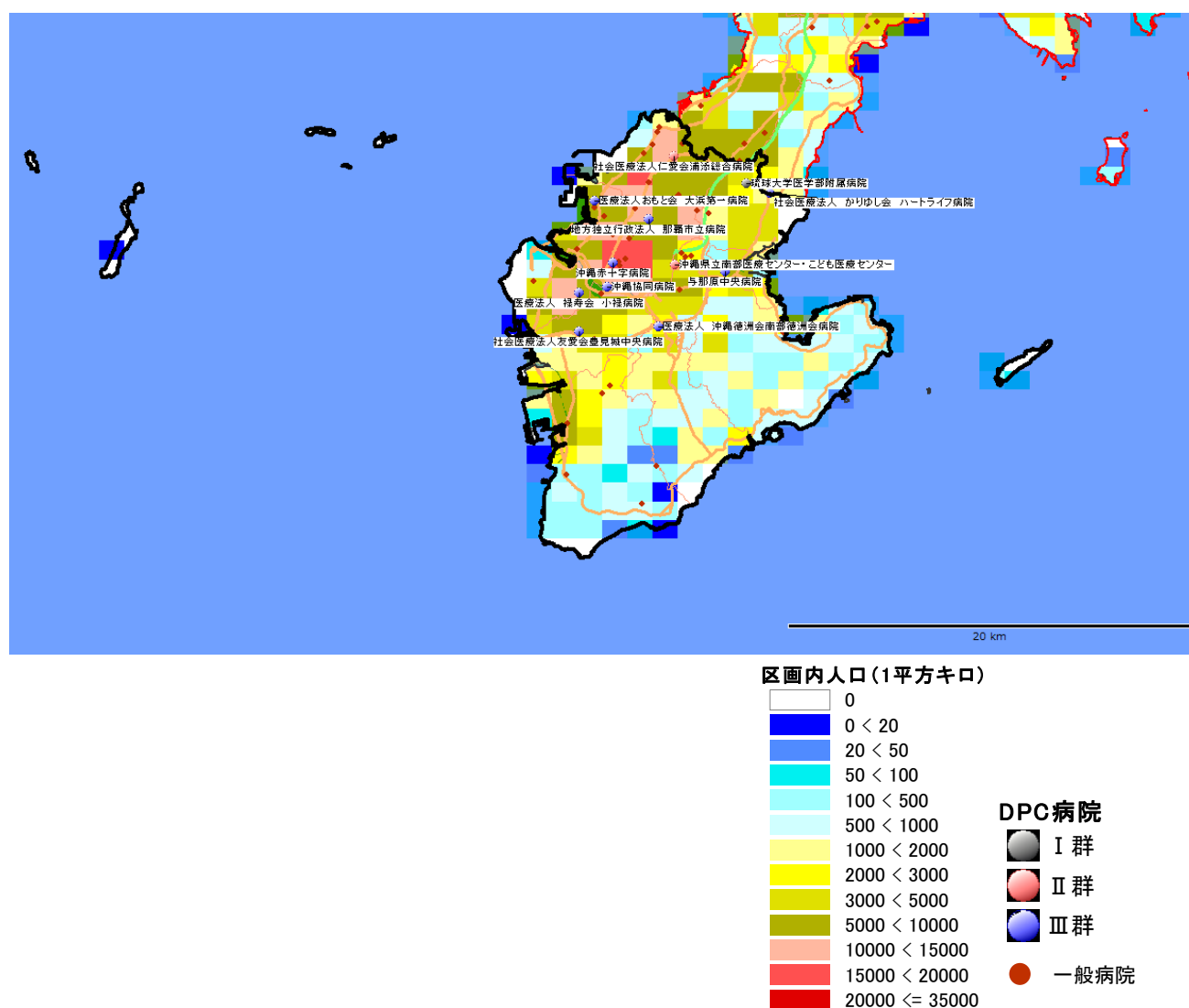


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

47-3. なんぶ 南部医療圏

構成市区町村¹ 那覇市,浦添市,糸満市,豊見城市,南城市,西原町,与那原町,南風原町,渡嘉敷村,
座間味村,栗国村,渡名喜村,南大東村,北大東村,久米島町,八重瀬町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 南部医療圏を1 km²区画 (1 km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く (10,000 人/km²以上)、黄色系は中間レベル (1,000~10,000 人/km²)、青色系は人口が少ない (1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 南部(那覇市)は、総人口約719千人(2015年推計)、面積387km²、人口密度は1856人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 南部の総人口は2025年に724千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に704千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の71千人が、2025年にかけて91千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には121千人へと増加する(2025年比+33%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 南部の一人当たり医療費(国保)は269千円(偏差値40)、介護給付費は307千円(偏差値65)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 南部の一人当たり急性期医療密度指数³は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は0.74で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が55(病院医師数59、診療所医師数46)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は58と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は58と多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊見城中央病院、琉球大学医学部附属病院(I群)、浦添総合病院(II群・救命)、1000例以上の沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(II群・救命)、那覇市立病院、沖縄協同病院、500例以上の沖縄赤十字病院、大浜第一病院、沖縄徳洲会南部徳洲会病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6358人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4024床(偏差値49)、高齢者住宅等が2334床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6580人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム46、軽費ホーム51、グループホーム40、サ高住59である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 54 とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、618 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)で、75 歳以上人口あたりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

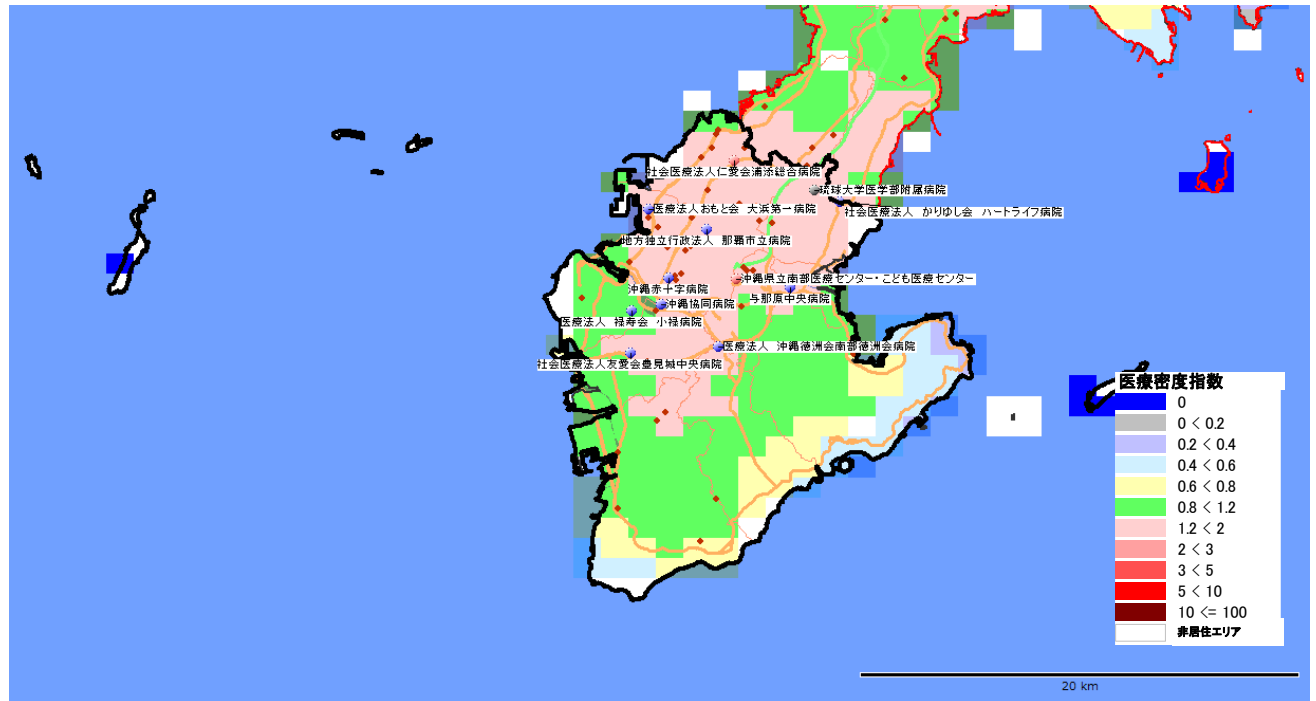
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－15%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－97%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

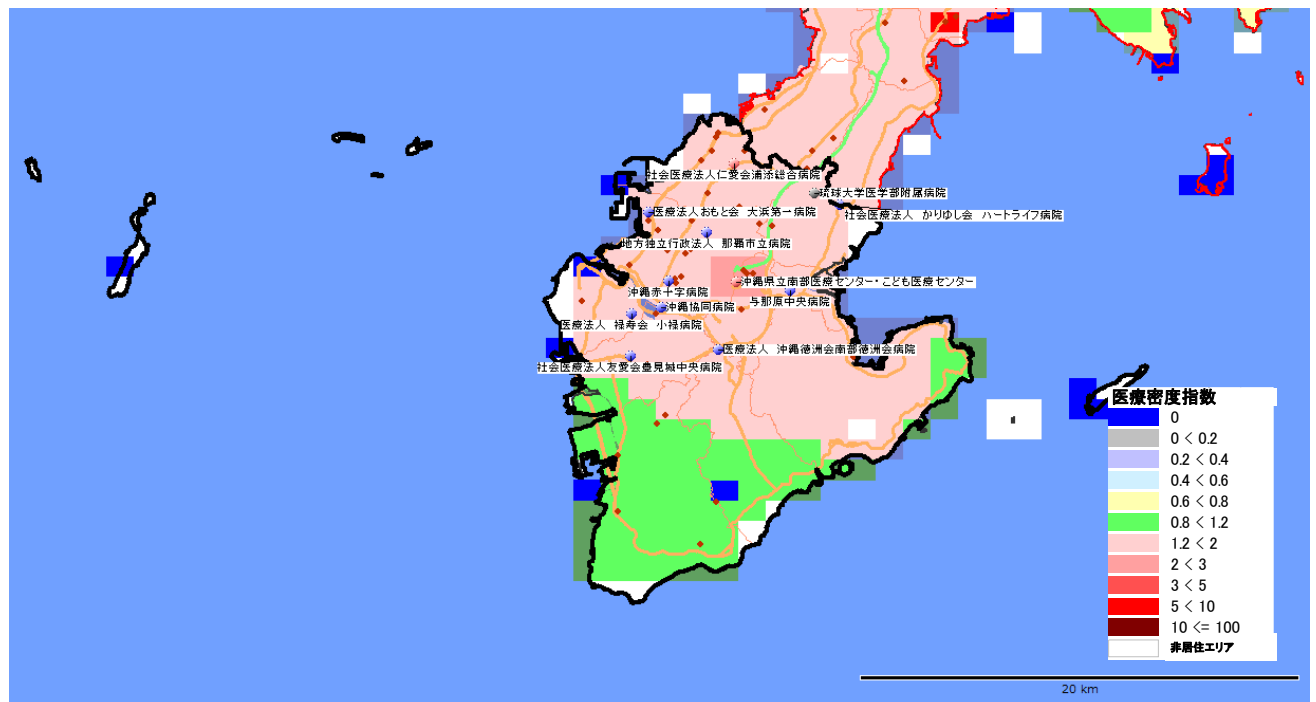
47. 沖縄県

2. 医療密度⁵

図表 47-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 47-3-2 慢性期医療密度指数マップ

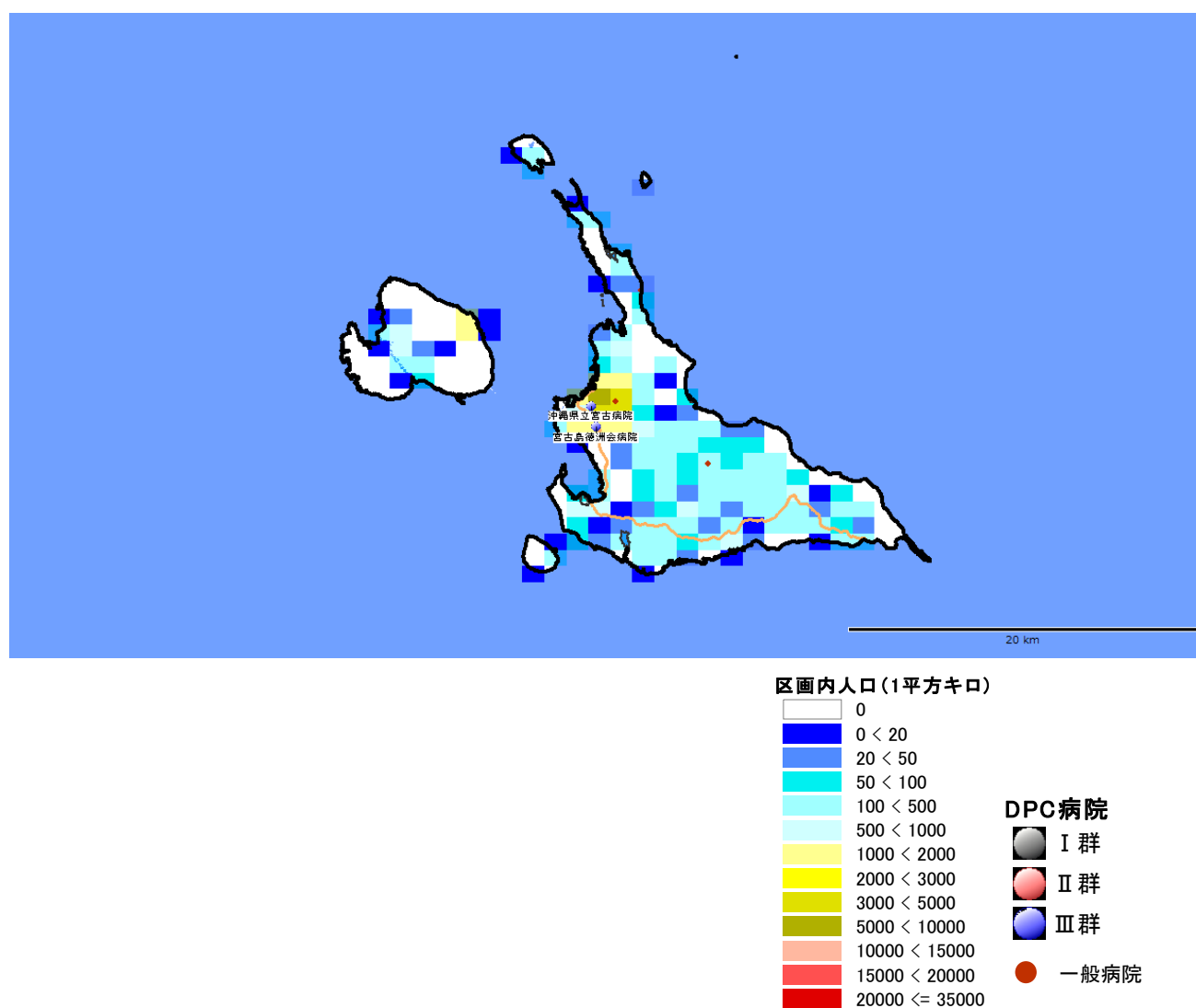


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

47-4. みやこ 宮古医療圏

構成市区町村¹ [宮古島市](#), [多良間村](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 宮古医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(宮古医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宮古(宮古島市)は、総人口約 52 千人(2015 年推計)、面積 226 km²、人口密度は 228 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宮古の総人口は 2025 年に 48 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 43 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 7 千人が、2025 年にかけて 7 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 10 千人へと増加する(2025 年比+43%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宮古の一人当たり医療費(国保)は 218 千円(偏差値 28)、介護給付費は 395 千円(偏差値 89)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宮古の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.39、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.39 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 43、診療所医師数 41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 53 とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 56 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 43 と少ない。宮古には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の沖縄県立宮古病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 57 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 43 と少なく、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 42 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 47 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宮古の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、743 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 516 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 227 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、735 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 67)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 55、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 71、有料老人ホーム 46、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 45、サ高住 53 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 52 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

は存在しない。介護職員（在宅）の合計は、272人(75歳以上1000人当たりの偏差値93)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

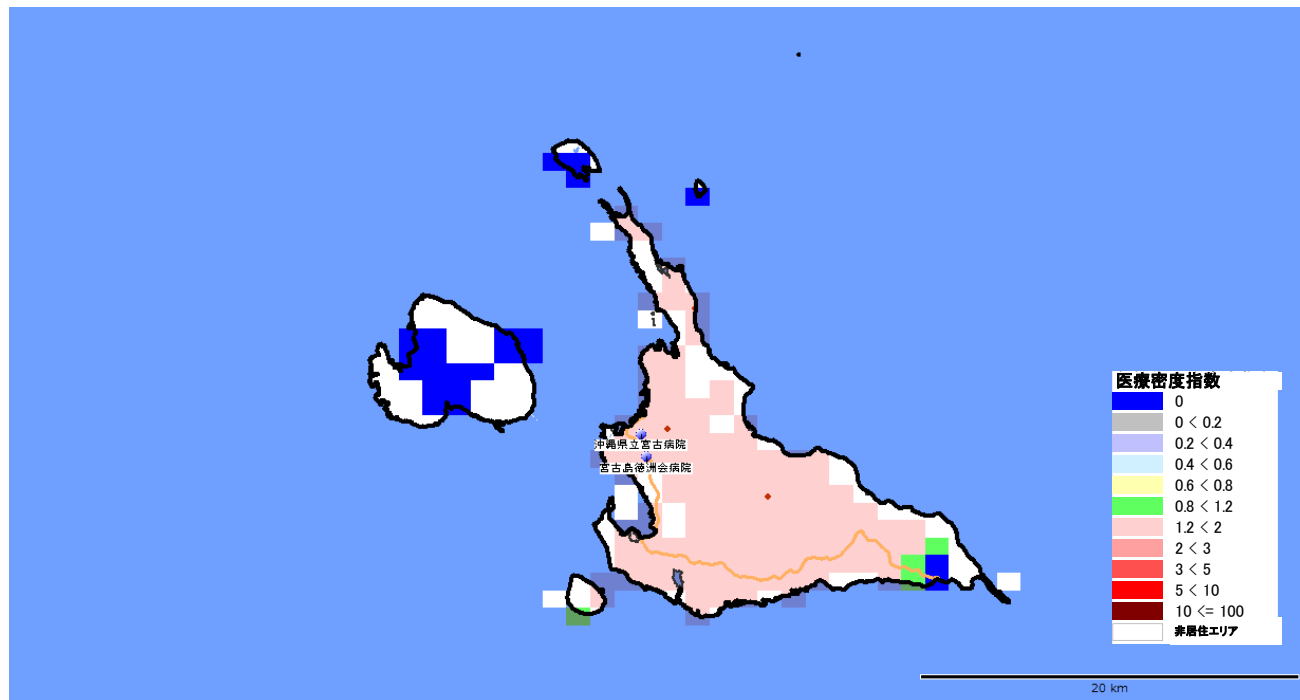
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+15%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

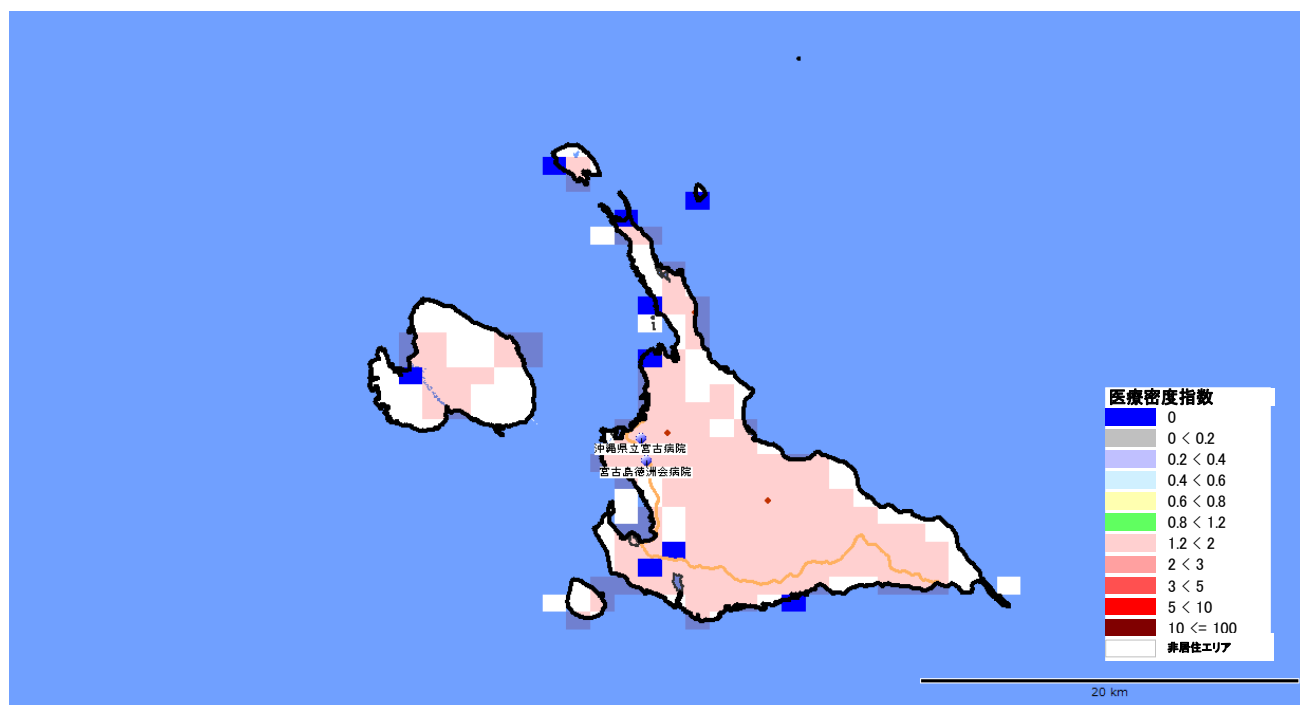
47. 沖縄県

2. 医療密度⁵

図表 47-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 47-4-2 慢性期医療密度指数マップ

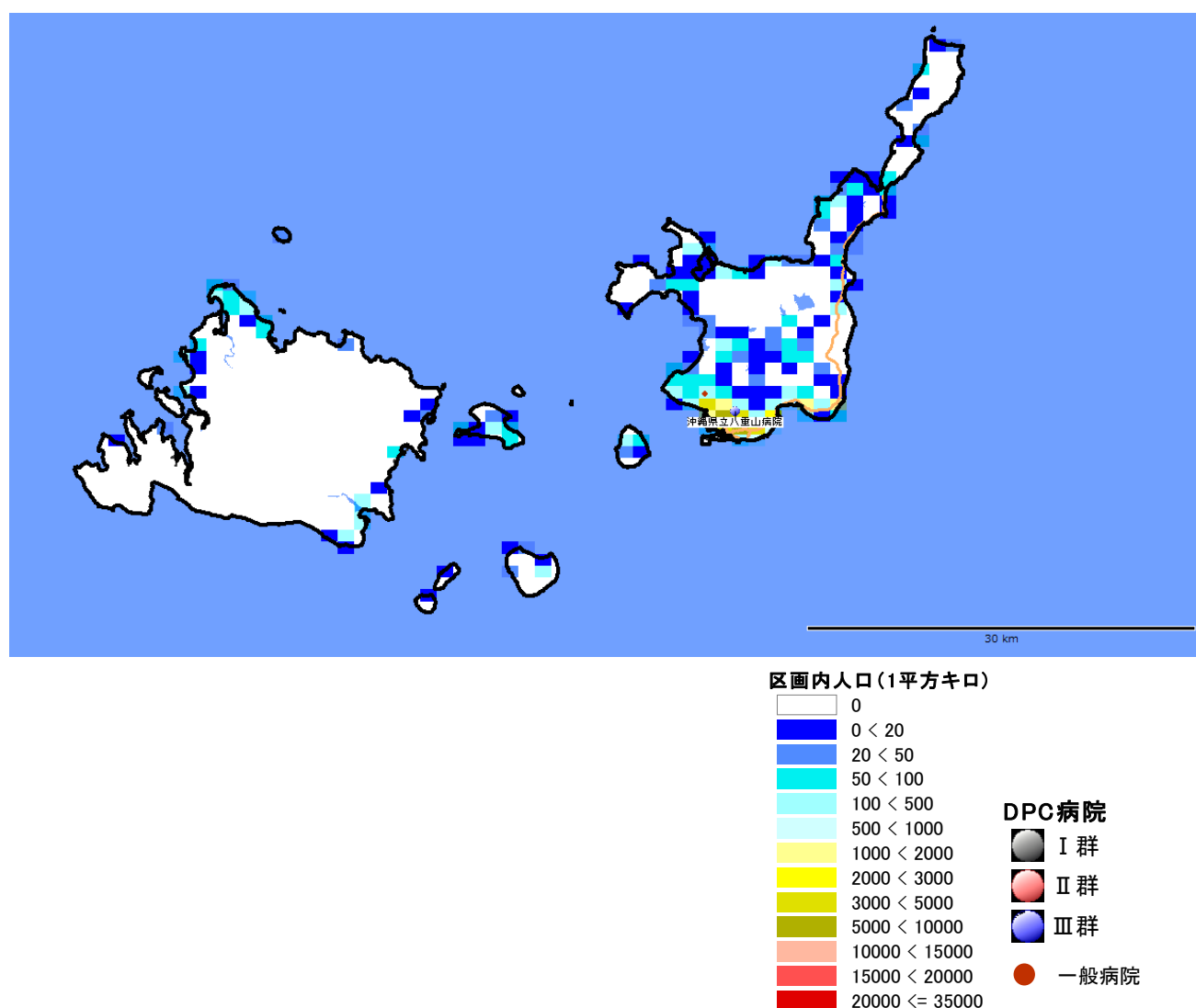


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

47-5. や え や ま 八重山医療圏

構成市区町村¹ [石垣市](#), [竹富町](#), [与那国町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 八重山医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(八重山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八重山(石垣市)は、総人口約 53 千人(2015 年推計)、面積 592 km²、人口密度は 90 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八重山の総人口は 2025 年に 54 千人へと増加し(2015 年比+2%)、2040 年に 52 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 6 千人が、2025 年にかけて 7 千人へと増加し(2015 年比+17%)、2040 年には 9 千人へと増加する(2025 年比+29%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八重山の一人当たり医療費(国保)は 215 千円(偏差値 27)、介護給付費は 340 千円(偏差値 74)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 八重山の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.67、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.67 で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 41(病院医師数 42、診療所医師数 41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 45 とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 49 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 40 と少ない。八重山には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 46 と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 42 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 47 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八重山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、508 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 336 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 172 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、454 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 55)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 61、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 87、グループホーム 39、サ高住 61 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

は存在しない。介護職員（在宅）の合計は、79人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

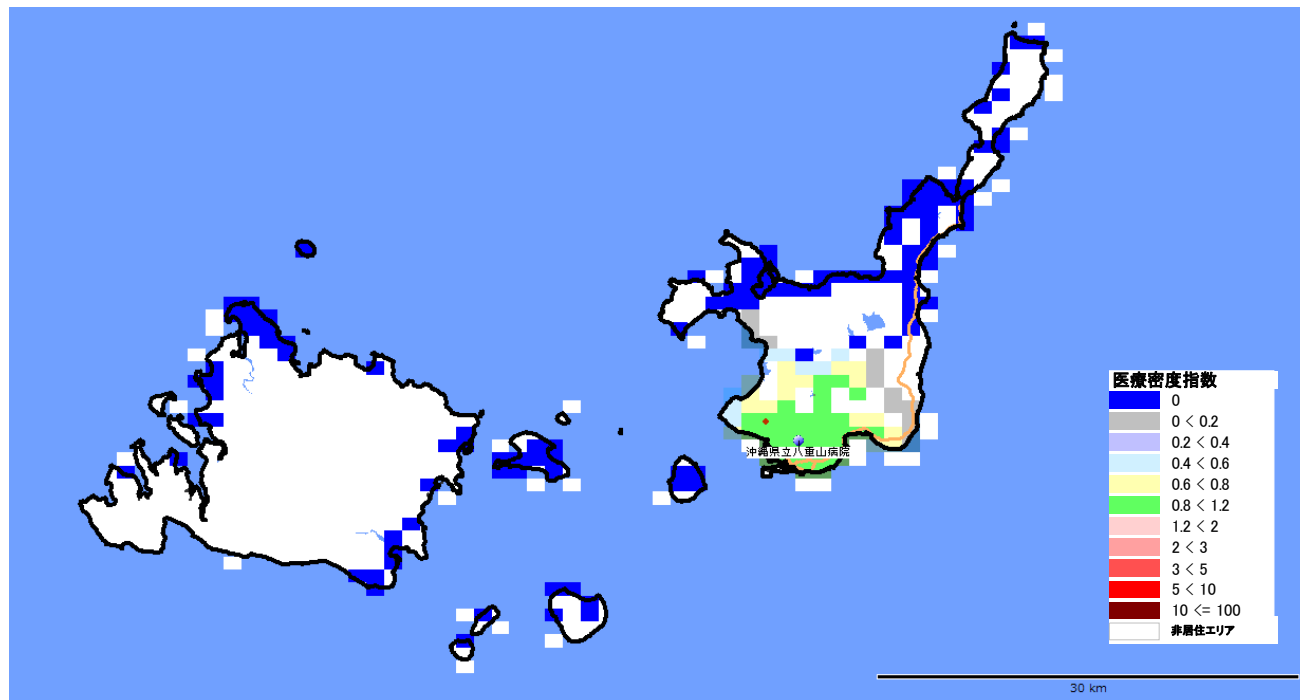
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は-15%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-98%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

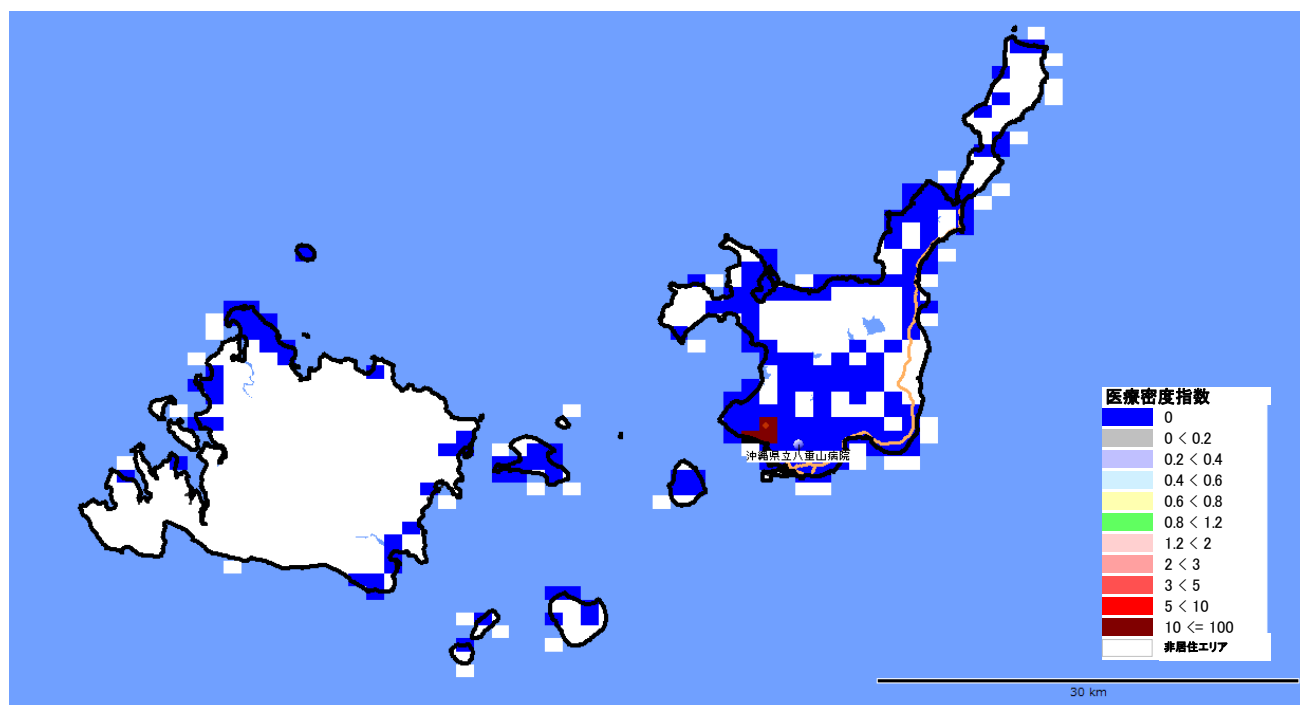
47. 沖縄県

2. 医療密度⁵

図表 47-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 47-5-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。